

令和3年度 第1回大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会  
議事録

日 時 : 令和3年10月28日(木) 午前10時から午前11時30分まで  
会 場 : 大阪市役所 地下1階第11 共通会議室  
出席委員 : 三田(優) 部会長、井上副部会長、芦田委員、大野委員、倉田委員、  
三田(康) 委員(Web) 大東委員(Web)、西委員、長谷川委員、福田委員、  
星沢委員、前野委員(Web)、松本委員、溝上委員、山内委員、山梨委員

司会(障がい福祉課 村田) <開会>  
松村障がい者施策部長 <あいさつ>  
司会 <出席者紹介、退任委員・新任委員紹介等>  
八木障がい福祉課長 <会長選出>

三田部会長

- ・時間が限られておりますので、議題1からスタートしたいと思います。
- ・「大阪市障がい者支援計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画」の実施状況について、事務局から説明をお願いします

山本障がい福祉課長代理

<議題1 資料1-1, 資料1-1別紙、資料1-2~1-4 説明>

三田部会長

- ・たくさんデータがありますが、抜粋して説明いただきました。
- ・初めての委員の方は、何が何だか分からないという所があるかもしれませんが、ご質問、あるいはご意見、何でも結構ですので委員の方からお願い出来ればと思います。
- ・マイクがいきますので、手を挙げていただくなり、或いは、WEBの方も意思表示していただければと思います。

倉田委員

- ・資料1-3、6ページ、福祉施設から一般就労の改善のところで、障がい者就業・生活支援センターが中心となり、とありますが、これは府・市に就ポツは設置されていますか。
- ・就労移行支援事業所での支援が終わった後も継続して就ポツが引き継いで支援をしていくと聞いていましたが、就労移行支援事業所から就ポツへ繋がって、どの程度支援されているのかお教えいただけますでしょうか。

三田部会長

- ・事務局いかがでしょうか。

山本障がい福祉課長代理

- ・本日委員として、就ポツの前野所長にもご参加いただいておりますので少しご説明いただければと思います。

前野委員

- ・先ほどご説明があったように、就業・生活支援センターと就労移行との関係で言いますと、就労定着支援事業を通過し終わった後も、ご本人の希望があれば、就業・生活支援センターで定着を継続して図っているところです。
- ・肝心なのは、就業の継続を図る取組というのは、全体的にまだまだ底上げが必要というのが一点あります。
- ・あと、センターだけではないのですが、企業に就職された方は企業の合理的配慮の必要もごございますので、全体的に何がその当事者の方にとって必要かというようなことについては、全体で考えをまとめていく必要があると私達は考えており、ご本人が取り組まれていく流れがあるのですが、その中で、就労定着支援事業所とタッグを組んでコミュニティという様なものをいくつか作り、絶えず勉強会なり、或いは定着支援のやり方なりというものをセンターが中心となり催しております。

倉田委員

- ・ありがとうございます。
- ・余談ですが、友人が就ポツの方に大変お世話になっており、大変ありがたいとおっしゃっていましたので、お伝えします。
- ・ありがとうございます。

三田部会長

- ・他に質問・ご意見ありますでしょうか。

三田委員

- ・資料1-3の中にある、2年度の評価の中に記載されているグループホームの重度の障がいの方の多様なニーズに対応する、というお話の中で、今現在、グループホームで重度訪問介護を個別利用するというのが3年越しずつで続いてはおりますが、今後、大阪市はこのことについて、国が決めた通りそのまま終われば終わるみたいな形で進めてらっしゃるのか、方向性みたいなものがあれば教えていただきたい。
- ・少数かもしれませんが、かなり重い方にとって、地域の中で暮らしていくための施策とし

て、まだまだ今のグループホームの制度が不十分なところが沢山あるではないかと思っておりますので、その辺りを教えていただけたらと思うのですが。

三田部会長

- ・事務局お願いします

山川障がい支援課長

- ・グループホームのこの間の新規開設状況につきましては、順調に進捗しておりますが、今お話がありましたように、重度障がいの方の受入がなかなか進んでいないというケースもあると聞いております。
- ・重度障がいの方の受入促進が非常に重要であるということは、私どもも認識しており、また国からもこの間、重度障がいの方をグループホームで受け入れた場合の報酬の見直し等、加算等も進めているところで、また今後、国の方も重度障がいの方の受入の促進に向けて検討している中で、本市としましても、引き続き、重度障がいの方の受入促進について進めて参りたいと考えております。

三田部会長

- ・三田委員、今の答えでいいですか。

三田委員

- ・ちょっと頑張りますみたいなお話だったのかなと思います。
- ・やはり方向性というのですかね、国の方がどうするかは、当然関心のあることではあります。大阪市としてどのように考えていくのかというのは、国が例えば3年越しで認めている部分をやらないとなった場合は、大阪市はどうするのかを少しお聞きしたいなと思いい発言させていただきました。

三田部会長

- ・私も聞きたいのもう一回お願いします。

山川障がい支援課長

- ・実は確かにこの間ご指摘いただいている通りで、グループホームの開設は、特に今年度・昨年度の2ヶ年間で非常に順調に進んでおります。
- ・本市として、来年度から様々な受入促進というのを進めていきたいということで、現在関係先とも協議しているところで、今後、進捗状況につきましてもお示しさせていただきたいと考えております。

#### 三田部会長

- ・大阪市独自の具体的な取組は、この段階ではまだ言えないということなのですね。
- ・どうも大阪市としては、国がすぐ止めたと言ったとしても、そうではなく、やっていく策を持っていると。
- ・うなずいておりますので、三田委員よろしいですか。

#### 三田委員

- ・それに期待したいと思います。

#### 倉田委員

- ・グループホームの利用が3年を期限に切られてしまうみたいな話を聞いたのですが、せっかくグループホームに安住の場を見つけた方が、3年で出ていかなければならないということが決められようとしていると聞いたのですが、そちらについてはいかがでしょうか。

#### 山川障がい支援課長

- ・国におきまして、現在グループホームに入居される方、特に軽度の方についての見直し等を考えておられると言う様なことはお聞きしておりますが、具体的にこういった形で進めていくというのは、まだ示されていない状況で、今お話いただいた内容につきましては私どももお聞きしており、今後、国としてもやはり重度の方の受け入れ促進をしていきたいというところの方向性なのかなと思っておりますが、今おっしゃられたように、現在利用されている方の行き場が無くなることの無いように国に要望してまいりたいと考えております。

#### 三田部会長

- ・今、一部分では非常に大きな運動になっておりますが、国は、もう「住まい」とは何かというのが分からなくなっており、とても上の方の委員会でそんな感じの案が出ておまして、大阪もたくさん署名運動など色々とやっておりますが、大阪市として今言うのは難しいかもしれませんが、折角培った色々なものが変わらないようにというのは、皆同じ気持ちかなと思っております。
- ・そのとおりですね、3年でとか訓練のために入る住まいとは何だとか。

#### 井上委員

- ・一点は、新型コロナ過の中で、色々な計画立ててきたが、色々な問題点が起ってきたと思っております。
- ・そのことについて、どういう認識とどのような対策というものが本日提案されると思って

いましたが、全然これが出来ませんでした、あれが出来ませんでした、会議が出来ませんでしたということくらいしか分析しておられないのか、障がい福祉が本当に円滑に実行されたのか、どこに課題があったのかみたいなことを、ここで皆さんにも意見を聞いて、議論していくようにしなければ、後手後手に回っていて、障がい福祉のリーダーシップを障がい者施策の充実のために、リーダーシップを発揮していないような感覚になってしまうので、どういった課題があったのか、例えば移動支援は、ガイヘルさんが辞めてしまったとか、色んな問題が起こっていたり、事業所でコロナが発生し、職員確保がなかなか出来なくなったなど、色んな問題がある中で、これまでの施策そのものが上手く進まないという状況がある中で何が必要だったのかということをごどのように把握し、課題意識を持っておられるのかということをお聞きしたいのと、もう一点は地域生活支援拠点、これも今回非常に重要な施策だったと思います。

- ・これは8050で議論してきましたけれども、例えば障がい者と共に生活する家族が感染した場合に、その時にこの子がどうなるのかというので、いわゆるホテル療養にも入れないという状況があった時に、本当はここが上手く機能しなければならなかった部分だろうと思いますが、何かそういう視点で地域生活支援拠点がなかなか進まない理由とか、その辺りについてもどう分析しておられるのかお伺いしたい。

芦田委員

- ・今の井上委員の意見に重ねてですが、資料は数値を出していただいておりますが、そうではなく、例えば、施設入所のところが全部シャッターが閉まってしまい、ご家族も会えないし、ご本人も外に出ることが出来ないとか、ヘルパーさんがまだ感染もしてないのに、濃厚接触者ということだけで来てもらえなく、買い物した物をドアノブに掛けてもらうだけでも結構ですと言ったとしても、来てもらえなかったり、色んな日中活動のところも、安全を配慮してとのことなのでしょうが、閉鎖してしまい行くところが無い等の具体的な問題がたくさん出てきているはずなのですが、それがやはり数値でしか出ていないというのがどうなのかなということと、この間、大阪市も色んなことをされてきているはずなので、その実態もよく聞いています。
- ・ですから、そのことをお示しいただければ良いですし、今後無ければ良いのですが、第6波も十分懸念される中で、今までの経験を生かし、次はどうしていくんだということを考えられる資料を出していただければ、本日少しでも考えられる訳であったかなと思いますが、少し具体的なことも教えていただきたいと思います。

八木障がい福祉課長

- ・資料の方はご指摘の通り数値化されたものだけをお示ししていて、色んな取組をご説明出来てない所が反省点だと思っています。

- ・コロナの感染につきましては、一番の大命題は国を挙げ、感染拡大をどう防止するかということ、障がい福祉の世界で言いますと、サービスを出来る限り止めないでやっていただけの方策、色んな感染防止の必要な備品等をお配りするとか、感染が起こった場合には特に入所施設なんかにおいては避難が出来ないという状況もありますので、その時に働いておられる方達の連携によってご連絡いただいたところには、行っていただける方を探すなどの取組をしてきたところです。
- ・勿論十分であるとは思っておりませんし、この経験を踏まえ、もしまた第6波になった場合には、迅速な対応が出来るようにということ、また一方で、並行してワクチン接種についても、順調に進んでいるようでそうでない部分があり、3回目の話も出てきているところなので、そういった経験を踏まえ、スムーズに進められるように検討して参りたいと思いますので、資料がない中ではございますが、本日忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。
- ・資料不足で大変申し訳ございませんが、どうぞよろしく願いいたします。

#### 三田部会長

- ・こちらが出せば良いのですかね。
- ・その場合、もう2時間では足りなくなり、多分慎重になられているとは思いますが、これだけで進みませんでしたと帰るのは余りにも辛すぎるので、皆さんの中で把握してらっしゃることがあれば、例えば地域移行進んでいないです、でも感染防止だから仕方がない、でも聞こえてくるのは施設の中で外にも出られず、すごくしんどくなった人が、中で感染予防をきちんとされているのだろうか、或いは家庭の中で実は虐待が増えているが表には出ないのではないかとか、この間特にこういうところが忙しかったとか、こういうところで十分出来たか分からないが、凄くこういうところが大事だと思ったなどという声の一つでも二つでも聞けると何か一緒に頑張れるかなと思います。
- ・多分、資料として出すことは厳しいと重々承知しています。

#### 大野委員

- ・大阪市内には単科の精神科病院はありませんが、この間、コロナで精神科病院入院中の精神障がい者が最も大変だったことは、コロナの治療に関する専門病院への転院率が非常に悪く、大阪府下でのクラスター発生、北と南、いくつか具体例を挙げ、私の参加している大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会にて問題にしているのですが、非常に専門病床への転院率が悪く、3分の1以下、或いは1割位の人しか転院することが出来ない。
- ・大阪市内にある精神科を持つ病院というのは、ほとんどが総合病院ですので、その中で精神障がい者がコロナにかかった場合、総合病院内であれば多分病床のご用意をいただけたかなという希望的観測を持っていますが、そこは非常にシビアであり、総合病院の中での他の疾患、専門治療病床を持つという安心感がまだ家族の中には無く、多分、精神

科病院というのは他の精神科病院ですと個室が無いということで病棟ごとのロックをしてしまうということも東京では起こり得ています。

- ・大阪市内は総合病院で精神科を持っているところばかりですので、総合病院における罹患者の対応をもう少し具体的に準備していただけると安心するのですが。

三田部会長

- ・多分皆さんこんな感じで色々と差し迫ったことを身近に感じながらということなのですが、どうしますか皆さん。

松村障がい施策部長

- ・コロナ禍での課題と今後どうしていくか、ということについて全部振り返りますとこのメンバーでは対応しきれないところも沢山あるでしょうし、そういう場というのは、本当は別に持たなければならないと思っておりますが、とりあえず本日は計画の進捗状況のなかで、コロナ禍でどうだったのかということだけを引っぱり出したもので、中途半端な形となっていることは申し訳ないと思います。
- ・ただ、昨年度、特に当初は、コロナがどういう感染症なのかもよくわからず、とにかく命を守らないといけない、という中で障がいのある方が行き場を失ったり、色々とつらい思いをされたり、といった状況もございましたが、その都度、その都度の情報に応じた対応というのを、我々も一生懸命やってきたところです。
- ・その中で、先ほど課長が申し上げましたように、まずは感染の拡大防止、その為にどうしていくかということで、当初、衛生用品もなかなか手に入らなかったところ、配布させていただいたり、サービスを少しでも継続していただけるように、という観点で色々な対処をしてきたところです。
- ・職員の方も感染され、支援者がいないという、一番ひっ迫していた状況がございまして、その中でどういう仕組みで、応援支援体制がとれるのか、といった観点で、アンケート調査をさせていただき、本当に困ったときにどういう事業者がどういうところに応援に行っていたのか、リストを作って、いざという時に手配させていただいたりして、何とか乗り越えてきました。
- ・それらを踏まえて、第4波、第5波ともそれほど大きな混乱もなく、やってきたところです。
- ・まずサービスの継続が優先で、とりあえず、今年度はワクチン接種をどう進めていくかということに尽力してきました関係で、施設の中でどうだったのか、どんな支援が行われていたのか、など細かいところまで振り返れていないのが実情です。
- ・こういった場で皆様のお話を聞かせていただき、また、各団体等との協議の中などでお聞かせいただきながら、それらの課題をまとめて、どうしていくべきか、というのは、しっかりと考えていかなくてはならないと思います。

- ・本日は準備不足で十分にご質問に答えられないところもございます。
- ・申し訳ございませんが、いろいろな部署との関係もございますので、今後ということで、宜しくお願ひしたいと思ひます。

#### 井上委員

- ・今後は良いのですが、一度そういうことを含めて、確かに保健部局の方が中心になっており、そこが言ったことをどう後追いするかで現場は大混乱しております。
- ・当事者・家族もすごく悩んでいて、何を信じたら良いのかと。
- ・障がい特有の色々な困難性、例えばマスクをつけなさいと言われて、マスクが付けられない人はどうするのかということなどについて、どこにそれを問い合わせれば良いのかと言うと、保健部局は、基本はマスクですと言われるだけで、障がいのこの部会が、障がい福祉課が果たしてくれる役割って何なのか、議論していかないといけないので、それはそれで課題が整理出来ていないのであれば把握出来ている部分もあると思ひますので、問題提起してもらい意見交換する場を早急に持たないと、コロナが無くなる訳ではないので、感染症対策の問題として、何をどうしていかなければならないのか、どこに課題があるのか、第6波に向けて策みたいなの、家族がもし発症した時にこの子はどうなるのと言うと、濃厚接触者なので受け入れてもくれないといった状況が起こった時に、安心して治療さえ受けられないというか、その方針の中で、障がいがあるが故の困難性についてどう対応していくのかを議論することが、この障がい者本来の障がい者計画の具体化に繋がっていくのではないかと思ひるので、そういう視点で課題を整理してもらい、議論できる場をぜひ設けていただきたいと思ひます。

#### 三田部会長

- ・時間が限られているので、ここで議論する時間ありませんが、親会でも結局そういう話はせず、結局どこでもしてなくて、いつも良いのだろうかと思ひつつ、見えているのは次の計画をどうしようという話になってくるので、何をこの部会をやっているのか、一番現場に近い方がいらっしゃる中で、やはりこういう所が、今の時代には大事なんだということを共有すること無しに計画を作って良いのだろうかというのは私の中でもずっと思ひています。
- ・ご意見はそちらの方に求めませんが、ちょっと大事なことと思ひています。

#### 星沢委員

- ・障がい者の施策の内容を読んでみますと、私個人の問題が起きて、何かというと、大阪市立の図書館に行きました。
- ・予約していた本ですが、それを取り寄せて欲しいと受付でお願いしていた訳ですが、出された本は、私が予約した本ではありませんでした。

- ・受付の人に、私が予約した本は北図書館にあるので行ってくださいと言われました。
- ・実際には、北図書館ではその本はもう別の方が予約をされていました。
- ・何故分かったのかというと、その受付の方は、図書カードを確認されていなかった。
- ・他の人が予約している本と誤解をされた訳です。
- ・それで北図書館の方に行って下さいとろうあ者に対して、本当にまずい対応だったと思います。
- ・きちっと記録、筆談もなく、パソコンで打たれた文字を見せてもらいはいはしましたが、それでは情報が足りません。
- ・おかしいなと思い、家に帰り妻に依頼し電話をしてもらいました。
- ・そういった経過を確認してわかりました。
- ・対応の不備もあり、先方から謝罪もしていただきました。
- ・後で調べましたら、大阪市立の図書館の目的の中に障がい者対策とありますが、聴覚障がい者に対する合意的配慮が何もなかった訳です。
- ・そのことを考えていただきたいと思っています。
- ・よろしくお願いします。

三田部会長

- ・星沢委員に確認ですが、それはコロナによって起こったことに限定している訳ではないですね。

星沢委員

- ・コロナによって限定されたことではないです。

三田部会長

- ・現状で困っていることとしてのご意見として受け止めたいと思います。

星沢委員

- ・基本的な障がい者に対する問題だと思って意見を言いました。

三田部会長

- ・そもそもコロナの時に図書館は閉まっていたような気がして、そこにも行けないというのもあります。

西委員

- ・初めて参加させていただきまして、折角ですから一つだけお尋ねさせていただきます。
- ・コロナとは関係ありませんが、障がい者スポーツセンターが舞洲と長居にございますが、

これが廃止になるというふうに色々聞いていますが、今どのような方向で話が進んでいるのか教えていただければ幸いです。

大谷障がい福祉課長

- ・障がい者スポーツセンターにつきましては、地域の声や利用者様の声をお伺いしながら、今後のあり方について、現在検討しているような状況でございます。
- ・方向性については、出来るだけ早期に検討させていただきたいと考えているところです。

山梨委員

- ・今の件ですが、スポーツセンターの件、まだ老朽化してきた、検討しますと言っております。
- ・いつまでやっているのですか。
- ・随分と前から言っておられます。
- ・去年は、年度末で決めますという話でしたが、まだ検討しますという話になっています。
- ・いつ決めるのですか、今のこういう形で決めますとか、努力しますとか、そういう話では前に進まないと思います。
- ・そのあたりをお願いします。
- ・もう何回も言っておりますので。

大谷障がい福祉課長

- ・以前から何度もそのような形で、前回も山梨委員からご指摘いただいておりますこと十分承知しております。
- ・建物につきましては、現在 47 年経過しており、老朽化が進んでいるということもありますので、早急に方向性としては検討していきたいと考えております。

三田部会長

- ・はい、次回は期待しましょう。
- ・何回も確かに聞いている覚えがありますが、時間がかかり押しておりますので、次に行かせていただき、最後に時間が余ればご意見をいただければと思います。
- ・議題 2 「大阪市障がい者支援計画・第 6 期障がい福祉計画・第 2 期障がい児福祉計画」の策定及び次期計画の策定に向けての取組みについて事務局からお願いします。

八木障がい福祉課長

<議題 2 資料 2-1~2-2 説明>

三田部会長

- ・テーブルにある冊子が前回まとまった計画ですが、これについて何かご質問、ご意見。

#### 山内委員

- ・次の計画策定に向けては、新型コロナウイルス感染症の元にある中で作っていく訳ですので、難しいというのは良くわかりますが、それを抜いてこの計画はありえないと私は思っていますので、その振り返りを必ずやった上で、それをどこかの項目に入れる必要が、国が示さなくてもやはり大阪市として、コロナはやはり減らしていけないといけませんし、大きな意義を、多大な影響を与えましたので、それに抜きに障がい者分野で計画を作ることにはありえないと私は思っており、そのための実態調査の部分の項目を入れたり等、多少大変かもしれませんが、会議の範囲でそういうことをやっていただけたら良いかと、それは我々委員の方にも返ってきますので、我々も関わらないといけませんが、是非ともそういう観点をに入れていただいて、何も我々がして来なかった訳ではないので、振り返って効果的にブラッシュアップしていく作業を一緒にやっていければと思っていますのでよろしくをお願いします。

#### 三田部会長

- ・これは色んな市で作っている計画ですけれども、前回も総論のところ、大阪独自の言葉を入れるのかとか、そういうところも少しお話しをさせていただいた気がしております。次の計画では、やはりコロナを抜きにして総論も書けないと思っています。
- ・今、具体的には言えませんが、ここで見えてきたことがやはり、制度と制度の谷間とか、人がこんなにも急にいなくなる等、色んなことを皆さんが感じているものを、話し合いながら出してもらった場合は時間が必要ですので、1点、2点ずつでも、何か課題を挙げていただいたものを事務局と部会長と副部会長で集約するとか、そんなことをやれたら良いかなと思いました。
- ・次回もその次も、皆さんもフラストレーションが溜まりっぱなしで、何を次の計画だと思うかもしれないので、ちょっと大事なかなと思いましたので、それについては、ちょっと相談させていただけたらと思いますのでご協力いただければと思います。

#### 山梨委員

- ・先程の質問ですけれども、資料2-1、5-3のスポーツ・文化活動等がありますが、長居障がい者スポーツセンターの老朽化の現状、新たな障がい者スポーツや多様化するニーズを踏まえ、施設整備の方向性の検討を行いますとなっていますが、決定します、として出すことはできませんか。

#### 三田部会長

- ・この時は検討しますだから、次はもう答えは出ているでしょう。

- ・この前の計画で出た部分ですので、この文書は変えられないけれども、山梨委員としては、ここは気になって仕方がないです。
- ・次は多分、変わっていると思いますので、私達もインプットされましたので進捗状況をお聞きたいと思います。
- ・そうしましたら、まだ議題がありますので、次に参りたいと思います。
- ・次は報告事項になります。
- ・「大阪市手話に関する施策の推進方針」の改訂についてお願いします。

山本障がい福祉課長代理

<資料3-1～3-4 説明>

三田部会長

- ・今の報告ご説明についてご意見、ご質問いかがでしょうか。

井上委員

- ・大聴協さんの方からもご意見があるかとは思いますが、言語条例の問題もそうなのですが、障がい部局が一生懸命頑張っている、他のところがこの中身をどのように理解させるのかの工夫の方法も出さないと、例えば、聴覚障がいの方の手話通訳をする時に、マスクをしているとやはり表情がとって、透明マスクをつけて欲しいといった要望があったりします。
- ・それを推進していくために、どこに言えば良いかと言うと、「担当部局がありません」みたいなことを言われるのですが、合理的配慮ということ言えば、そこも含めて、保健局がそういった事由について、どのようなテーマや説明をするのかみたいなことについて、部局自身がそういう意識を持っているのかどうかみたいなことが大きな課題だろうと思うのですが、どうも他も差別解消法に関係にしても他部局はどうなんだろう。
- ・今回、医療的ケア児支援法が出来ましたけれども、ただ教育だけではなく、多数の部局があり、どこが担当し、そこはその意図をそれぞれがどういうふうに、中身を定着させていくのかということの、そういう提案を含めてなされないと、条例だけ作れば、それで解決しますよという話ではないような事態がこのコロナ過でも起こったのではないかなと思うのですが、そのあたりの議論はないのですね。

山本障がい福祉課長代理

- ・井上委員からいただいた意見は、検討会議でも皆さんの方からも同様のご意見をいただきました。
- ・我々としましても、今回とりわけ、例えば一つの例ですが、手話教育の取組がどのようになっているのかということを全く把握出来ていなかったという状況もありましたが、そ

ういったことも踏まえ、担当部局に対し改めて、どういった取組をしているのかを聞きながら、また、各部局に対してはこういった合理的配慮を含めて対応が必要であると同時に伝えてきたところです。

- また、大阪市の部局だけではなく、区長にも当然理解していただければならないということで、区長会でも説明をさせていただき、障がい福祉課が本気でやるんだぞという姿勢を見せてきたところです。
- また、色々な部局への周知等もホームページを活用し、勿論市民に対しての周知もやっていきたいと考えております。
- ただ、おっしゃるように、周知というのは難しいところでもありますので、是非とも、皆様委員の方のお力もお借りしながら、手話は言語であるということを伝えていきたいと考えております。

#### 星沢委員

- 役所のモニターの中に、手話通訳の画像が出てきます。
- 他の所はわかりませんが、城東区では、この手話を見て「こんにちは」という挨拶の画像が出て来ます。
- 手話が少し変なのです。
- ろうあ者が見て少し違うなという表し方もあります。
- きちっとした表現ではなくて、そういうことをきちんと調べていない。
- ろうあ者からの不満が多い。
- 手話をどのように見ているのか、きちんと聴覚障がい者に見てもらって確認しているのか、そうでなければ、手話モデルを聴覚障がい者にしろというような意見もあります。
- こういうところは検討していただきたいと思います。
- 今の井上委員がおっしゃったように、手話は言語ということをもう少し深く考えていただきたいと思います。

#### 三田部会長

- 条例以前の問題だと思います。
- 貴重な意見、ありがとうございます。

#### 福田委員

- 今はコロナで行けなくなっておりますが、小学校に社会福祉協議会と一緒にボランティアで行かせてもらうのですが、手話・車いす、その後に他の障がいのことの理解で回る際に、手話の時、やはりしっかりした人がボランティアで来られた時は、私も分かりやすいのですが、分かりにくいジェスチャーをされる方の時は、前に習ったものと少し違うなど思うことがあるので、やはり私達もボランティアとして、手話をする時には、きちんと教えて

もらってからしないといけないと感じていますので、そういった時には、手話の専門の人を呼んでやっていただいた方が良く、この頃つくづく思うようになりました。

三田部会長

- ・当事者参加若しくは当事者確認というのは、本当に大事と思いました。
- ・もう一つ、報告事項があり、「障害者優先調達推進法」に基づく本市の調達実績についての説明をお願いします。

山本障がい福祉課長代理

<資料4 説明>

三田部会長

- ・これについては、よろしいですか。
- ・ここから議論が出来れば良いかなと思いましたが時間になってしまいました。
- ・私の進行もまずくて、大変申し訳ありませんでした。
- ・一応今日の議題は全て終わりましたので、事務局にお返ししたいと思います。

八木課長

- ・皆さん、本日は貴重なご意見も多数いただき、ありがとうございました。
- ・次回の計画に向けては、新たなことも盛り込んでいくということですので、部会開催に限らず、またご連絡を差し上げる事があるかと存じます。
- ・その際に忌憚のないご意見を下さればと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。